

アスパラガス 6月指導会補足資料

令和6年6月20～21日

東北地方 1か月予報(06/15～07/14)		
2024年06月13日 14時30分 仙台管区气象台 発表		
特に注意を要する事項		期間の前半は、気温がかなり高くなる見込みです。
向こう1か月 06/15～07/14	天候	平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。
	気温	平均気温は、高い確率80%です。
1週目 06/15～06/21	気温	1週目は、高い確率80%です。
2週目 06/22～06/28	気温	2週目は、高い確率60%です。
3～4週目 06/29～07/12	気温	3～4週目は、高い確率50%です。

雨入りからの長雨・日照不足への対策

これから雨天日が多くなり立茎後の光合成不足が心配されますので、光合成促進・免疫力向上・病気抵抗性・根を促進する為、10日に1回 **(トップスコア・リン 1000倍)** を薬剤混用し葉面散布をしましょう。

(コサイド3000は除く) また、**高温時の散布は避けること**

※尚、トップスコア・リンをお求めの際は事前に資材センターに注文をお願い致します。

※薬剤散布は**展着剤の使用を必ず**お願い致します。(アプローチbi・ドライバー・アビオンE、など)

・立茎期間中の追肥について (7月～8月下旬まで)

立茎にも栄養を多量に必要とする為、足りない栄養を補給してあげましょう。

アスパラガス専用肥料 10aあたり20kg or 野菜肥料S535 10aあたり 20kg

土壤診断でリン酸・カリが過剰な圃場の場合

硫安 10aあたり14kg or 尿素 10aあたり7kg

上記の何れかを使用しましょう。また、**使用量は1か月分の量**となります。2～3回に分けて追肥しましょう。

これを8月下旬まで続けましょう。**尿素を均一に散布が難しい場合は硫安を使用しましょう。**

・立茎について

前年の生育が不十分であった場合は細い茎でも立茎し、その後、太い茎が萌芽、立茎し、擬葉が展開したら、細い茎を除去します。**また、再立茎を行う場合は梅雨明けに行うこと**

・害虫の発生について



← 楔状部の先端が黒い
(コアオカスミカメは
黒くならない)

アスパラガスへの被害が今年も数件出ています。出荷物のトロケの要因や立茎中の親茎への被害の元になりますので害虫が見えなくても殺虫剤をしばらく使用していなければ薬剤散布を行いましょう。

カメムシの食害写真



カメムシの食害は爪で引っ掻いたような傷を作る。出荷物にこのような傷があった場合は薬剤散布を行うこと。例（アディオン乳剤 2000倍 収穫前日）
（ダントツ水溶剤 4000倍 収穫前日）

ネキリムシ類について

立茎期間中にアスパラガスの根元を食害され親茎が倒伏した場合は、ガードベイトA（株元散布・収穫前日まで・3回以内・10a当たり3kg）を使用し防除しましょう尚、アディオン乳剤と系統が同じため合わせて3回以内となります。

○灌水について

- ・アスパラガスへの灌水は肥料を投入するよりも生育に良い効果をもたらす。

	定植～活着	活着～5月下旬	6月上旬～収穫終了後	収穫終了～10月下旬
水量/株	0.5～1ℓ	1ℓ	2ℓ	2ℓ
灌水間隔（目安）	1～2日	3～4日	3～4日	5～6日

※環境によっては灌水間隔は左右されやすい、人の手で調べる必要がある。

- ・10cmほど畝肩をほり底にある土を採取し手で強く握る。その後指で押した時に土の塊が二つに割れたら丁度よい水分、粉々になるようなら灌水をする。
- ・土壌水分計（PFメーター）など用意できる場合はPF1.5～1.8をキープする様に灌水する。